

施工説明書（保管用）

- この施工説明書、取扱説明書と住宅用分電盤に付属の説明書、インターホンの取扱説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。
 - 施工完了後は所定欄に施工店名を記入の上、この説明書をご使用者様へお渡しください。
- ※裏面の「安全上のご注意」もあわせてお読みください。

警告

！

厳守

●施工・点検時には上位遮断器を切「○」にし、電気がきていないことを確認してから行ってください。
感電のおそれがあります。

注意

！

禁止

●電源はAC100V専用です。AC200Vで使用しないでください。
●高温・多湿・じんあい・腐食性ガス・振動衝撃など異常な環境に設置しないでください。
感電・火災・不動作のおそれがあります。

！

厳守

●テンパール工業製住宅用分電盤パールテクト専用品（横一列タイプを除く）です。テンパール工業製の他の分電盤、他社製分電盤には取り付けできません。無理に取り付けた場合、火災のおそれがあります。
●端子ねじは、適正締付トルク範囲内で確実に締め付けてください。端子ねじの締め付けが不十分な場合、火災のおそれがあります。
●電気工事は、有資格者（電気工事士）が行ってください。
●ゴミ・コンクリート粉・鉄粉などの異物および雨水などが本製品内部に入らないように施工してください。
感電・火災・不動作のおそれがあります。
●電気が自動的にON／OFFした場合に危険な状態になる電気機器は、コントロール回路に接続しないでください。

■各部の名称とはたらき

◆電源LED（緑）

電源が入っている時に点灯します。

◆設定電流スイッチ

設定電流値を設定します。
（小型マイナスインプを使用します）

◆電流制限器あり・なしスイッチ

電流制限器の「あり・なし」を設定します。

◆外部出力端子

インターホン接続ケーブルを使用して、インターホンに接続します。
定格：30V／20mA

◆電源線（AC100V専用）

本体の電源線です。
分岐回路2次側に接続されていることを確認してください。

◆変流器信号線コネクタ

本体と専用変流器の変流器信号線コネクタを接続します。

◆専用変流器

◆電源端子（AC100V専用）

リレーボックスの電源端子です。
分岐回路2次側に接続されていることを確認してください。

◆負荷中継端子

コントロールする分岐回路を接続します。
（20A・AC200V）

◆PC-5R接続端子

PC-5Rの制御信号コネクタを接続します。
（上からCH4・CH3）

◆HA制御線接続端子

HA制御ケーブルを使用して「IFU」に接続します。
（上からCH2・CH1）

◆HA制御ケーブル（PC-4CW／別売品）

「HA制御線接続端子」と「IFU」の接続に使用します。

◆インターホン接続ケーブル

「インターホン」と「外部出力端子」の接続に使用します。

リレーボックス

PC-5R（電23210-7）

PC-5Rの制御信号コネクタは、本体のPC-5R接続端子に接続します。

CH3 CH4

HA制御ケーブル

黒（TC1）
白（TC2）
赤（TM1）
緑（TM2）

インターホン接続ケーブル

黒（+）
白（-）

施工方法

1 本体とインターホンの接続

[1] インターホン接続ケーブルとインターホンの接続

①インターホン接続ケーブルと屋内配線を接続します。
②屋内配線とインターホンに接続します。

インターホン接続ケーブル

インターホン

注）・屋内配線は、AE0.9-2Cをお使いください。
・電線の剥離長さは、9mmにしてください。
・外部出力端子の極性に注意して接続してください。
極性を間違えて接続した場合には、正常に動作しません。

[2] インターホン接続ケーブルと本体の接続

本体の外部出力端子にインターホン接続ケーブルを接続します。

インターホン接続ケーブル

外部出力端子

本体

2 本体と電気機器の接続（電気機器を接続しない場合、この作業は行いません）

[1] HA制御ケーブルとIFUの接続

①HA制御ケーブルと屋内配線を接続します。
②屋内配線とIFUを接続します。
③IFUと電気機器を接続します。

HA制御ケーブル

屋内配線（市販品）

IFU（市販品）

電気機器

[2] HA制御ケーブルの接続

本体のHA制御線接続端子にHA制御ケーブルを接続します。

HA制御線接続端子

本体

HA制御ケーブル

注）HA制御ケーブルの電線色とIFU端子は次の互換表にしたがって配線してください。

電線色	東芝ライテック	パナソニック	JEM-A規格
黒（TC1）	CA1	TC1	CA1
白（TC2）	CA2	TC2	CA2
赤（TM1）	TA1	TM1	TA1
緑（TM2）	TA2	TM2	TA2

3 リレーボックスと電気機器の接続

リレーボックスからCH3・CH4の電気機器へ配線を行います。
（右図の配線図を参考に配線してください）

注）・リレー制御回路には「20A・200V」を超えない電気機器を接続してください。
・リレーボックス（PC-5R）の負荷中継端子の締付トルクは「1.2～1.6N・m」で行ってください。
・リレー制御によりコントロールされる分電盤の分岐回路は、上列と下列に1つずつ配置してください。

本体

リレーボックス

負荷中継端子

リレー制御用分岐ブレーカ

CH4の電気機器へ

CH3の電気機器へ

出荷時に配線済のため配線不要

■初期設定について

施工完了後は、「設定電流値」と「電流制限器あり・なし」を契約電流値に合わせて設定してください。

■構成

主幹ブレーカ

分岐ブレーカ

インターホン接続ケーブル

HA制御ケーブル

本体

分電盤内

専用変流器

変流器信号線コネクタ

リレー制御用分岐ブレーカ

リレーボックス

負荷中継端子

屋内配線

IFU

CH2の電気機器へ

CH1の電気機器へ

CH4の電気機器へ

CH3の電気機器へ

インターホン

2 本体と電気機器の接続

コントロール回路（HA制御）

本体からIFUまでの屋内配線は30m以内

1 本体とインターホンの接続

コントロール回路（リレー制御）

3 リレーボックスと電気機器の接続

■同梱品

- 本体（PC-5PB-2）・・・・・・・・・・・・・・1台（分電盤組込済）
- インターホン接続ケーブル（PC-4CB4）・・・・1本（付属品）
- リレーボックス（PC-5R）・・・・・・・・・・・・1台（分電盤組込済）
- 専用変流器・・・・・・・・・・・・・・1セット（分電盤組込済）

※電気機器を本体に接続する場合には、電気機器の台数分のHA制御ケーブルを別途ご購入ください。

■市販品

次の部品につきましては、市販品をご使用ください。

●屋内配線

・本体からインターホンへの接続電線
推奨：2心AE線（φ0.9）
・本体からIFUへの接続電線
推奨：4心VCTF 0.3～0.5mm²程度
使用可：4心AE線、4心CPEV線など

●IFU

東芝ライテック NDG8701（WW）
パナソニック WTF47204WK
WTF47214WK
※その他JEM-A規格に準ずるIFUが使用可能です。動作確認を行ってご使用ください。

注）・屋内配線は30m以内で行ってください。
・付属ケーブルと屋内配線の接続は、圧着端子などを使用して確実に接続してください。
・電気を使わずにCH1→CH2→CH3→CH4の順に電気機器を停止します。
・本体と専用変流器の変流器信号線コネクタが、接続されていることを確認してください。
接続されていない場合、電流値を読み取れず正常に動作しませんので、コネクタを確実に接続してください。
・電気機器によっては、IFUと電気機器の間にオプションパーツが必要な場合があります。
詳細は各電気機器メーカー様にお問い合わせください。

■テスト動作による接続確認

テスト動作を行うことで接続の確認ができます。

[1] 接続確認可能箇所

①本体と電気機器の接続
②本体とインターホンの接続

[2] テスト動作起動方法

①本体に接続された電気機器のスイッチをすべてONにします。
②「電流制限器あり・なしスイッチ」を切り替えて、3秒以内に元の位置に戻すとテスト動作を開始します。

電流制限器あり・なしスイッチ

[3] テスト動作内容

【本体と電気機器の接続確認】
①CH1→CH2→CH3→CH4の順に電気機器を自動的にOFFした後に、CH4→CH3→CH2→CH1の順に電気機器を自動的にONします。
【本体とインターホンの接続確認】
②インターホンから警報音を出力します。
（音量スイッチが「切」の場合、警報音は出力しません）
③テスト動作中は、LEDが次の状態になります。
●電源LED（本体）
・点滅（0.2秒間隔）

注）・電気機器のスイッチがONされた状態でないと、電気機器の接続確認は実施されません。
・テスト動作が正常に動作しない場合は、誤配線の可能性があります。配線の確認を行ってください。

■外部接点出力仕様

●動作詳細仕様

警報音制御番号および負荷率（%）信号を外部出力端子から以下の仕様で接点出力します。
※負荷率とは、検出された電流値を設定電流値に対する比率（%）で表したものをいいます。

●基本出力仕様

負荷率信号

警報音制御信号

負荷率信号

警報音制御信号

線返し時間幅

T1

T2

T3

T4

時間：T1～T4

負荷率信号および線返し時間幅

負荷率 I（%）		負荷率信号（接点出力時間）
電流制限器あり	電流制限器なし	負荷率信号の線返し時間幅内で線返し出力する
I=0	I=0	
0<I≤10	0<I≤10	14±3ms
10<I≤20	10<I≤20	28±3ms
20<I≤30	20<I≤30	42±3ms
30<I≤40	30<I≤40	56±3ms
40<I≤50	40<I≤50	70±3ms
50<I≤60	50<I≤60	84±3ms
60<I≤70	60<I≤70	98±3ms
70<I≤80	70<I≤80	112±3ms
80<I≤90	80<I≤90	126±3ms
90<I≤100	—	140±3ms
100<I≤110	90<I≤100	154±3ms
110<I≤120	100<I≤120	168±3ms
120<I	120<I	182±3ms

5Hz(200±3ms) 線返し時間幅

■本体の設定・接続について

- HA制御線接続端子に接続できる電気機器は日本電機工業会規格JEM1427「ルームエアコンHA端子」に適合したJEMA標準HA端子-Aまたは「HA」の表示を有する電気機器のみ使用できます。
接続方法については、電気機器メーカー様の説明書（ない場合は電気機器メーカー様にお問い合わせください）や分電盤の説明書を必ず確認してください。
- 本体の設定電流値と契約電流値が一致するように設定してください。
設定電流値が契約電流値と異なる場合、使用電流を正確に読み取れず、正常に動作しません。
- スマートメーターの電流制限機能を使用する場合は、「電流制限器あり・なしスイッチ」を「あり」に設定してください。
- 契約電流値を変更した場合は、必ず設定電流値と契約電流値が一致するように再設定してください。

施工店名

TEL（ ）

施工年月日 年 月 日